

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①今年もやります！パレード盛り上げ隊
- ②厚真町教育サポートセンター
- ③第38回さわやか町民登山会／4月定例教育委員会／町内小中学校教科書展示会
- ④短編アニメ「カモメのイピリマ」一般公開／アイヌ文化関連サテライト展示のお知らせ
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

今年もやります！あつま田舎まつりパレード盛り上げ隊 大募集！

今年も、6月27日（土）・28日（日）に厚真町の一大イベントである「第54回あつま田舎まつり」が開催されます。厚真町教育委員会では、令和5年度から「田舎まつりパレード盛り上げ隊」として、町内の小中学生を中心とした有志のメンバーでパレードに参加しています。

昨年度は、保護者も含めて過去最多の約100人の大所帯で参加し、大いに盛り上がりました。今年も、下記のとおり参加者を募集します。ぜひ、ご参加ください！

【あつま田舎まつりパレード盛り上げ隊 詳細について】

日 時：6月27日（土）12時00分～14時45分（予定）

※厚南会館から送迎バス運行を予定

集合場所：総合ケアセンターゆくり（予定）

※集合場所に関しては後日連絡します。

対 象：町内小中学生とその保護者※その他、一般参加や未就学児等の参加も大歓迎です！

申 込：右記QRコードの申込フォームよりお願いします。（6月5日（金）〆切）

※記念品の用意等もありますので、期限厳守でお願いします。



申込QR

令和8年度各種検定の開催日

令和8年度の各種検定（漢字・数学・英語）の運営事務局は、町教育委員会が担当します。

今年度は、右の日程および場所で開催予定となっていますので、多くの方々の参加をお待ちしております。受験対象者は、町内にお住いの方または町内の学校に通っている方となりますのでお気をつけください（漢字検定及び英語検定の第1回目は、学生のみを対象として開催します）。

なお、昨年度まで教育委員会事務所での受験料の受け取りをしていましたが、今年度はオンライン、金融機関およびコンビニでの支払い方法（直接申し込み方式）に変更となっています。

【漢字検定】

- 第1回 R8年 6月12日（金）総合福祉センター
- 第2回 R8年 8月20日（木）厚南会館
- 第3回 R9年 2月 5日（金）総合福祉センター

【数学検定】

- 第1回 R8年 8月22日（土）厚南会館
- 第2回 R9年 1月16日（土）総合福祉センター

【英語検定】

- 第1回 R8年 5月30日（土）総合福祉センター
- 第2回 R8年10月 3日（土）厚南会館
- 第3回 R9年 1月17日（日）総合福祉センター

【問合せ】

社会教育グループ ☎27-2495

令和8年4月
スタート

厚真町

教育サポートセンター

厚真町教育サポートセンター（通称：サポセン）は、学校生活になじめない児童生徒にとってのよりよい学びと社会的自立に向けたサポートを、学校とのチーム体制で行います。

「勉強はしたいけれど、学校に行くことができない」「学校生活や友だち関係がしっくりいかず、学校に行きづらい」「生活リズムが乱れて休みがちになってきた」このようなお悩みがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。

Q. どんなことをするのでしょうか？

・子どもがやりたいこと、好きなことを一緒に見つけて、体験します。



・子どものペースにあった学びの方法、勉強のやり方などを一緒に考え、子どもの学びのお手伝いをします。



・心身の健康について一緒に考え、取り組めることを探します。



Q. いつでも利用できますか？

8:30～17:15（土日祝日除く）の間に、子どもの様子をみながら日時や回数を相談して決めていきます。



Q. どこで活動していますか？

事務局は教育委員会です。実際の活動は、子どもが負担なく活動できる場所（公共施設等）を一緒に考えます。

Q. どんな人がやっていますか？

専任の支援員が子どもと活動します。

保護者の方とのお話し、計画をたてるなどで、教育委員会職員も対応することもあります。

Q. 誰でも利用できますか？

まずは、子どもや保護者の方のお気持ちや考えを聞かせてください。

子どもや保護者の方の同意を得たうえで、どうすることが子どもにとって最もよい方法か学校の意見もききながら、利用について検討します。



Q. 保護者だけでも相談できますか？

保護者の方だけの相談も受け付けています。

悩んでいる、対応にこまっている、このままでいいのかなと思うことは、お気軽にご相談ください。

利用開始までの流れ

学校に相談 または
サポセンに相談

子ども本人、保護者の
希望や意向を確認

子ども、保護者、学校と
利用計画をたてる

利用開始

お子さんの「今」にあわせ、
やりたいこと、楽しいことが
少しずつ増えていくよう、
工夫していきます！

（支援員より）



お問い合わせ・ご相談は…

お子さんが通っている学校 または

厚真町教育委員会 学校教育グループ

厚真町京町37番地（土地改良区2階）

☎ 0145-27-2494

「サポセンに相談」とお伝えください。

第38回 さわやか町民登山開催

- ★主 管 あつま山の会
- ★主 催 厚真町教育委員会・厚真町体育協会
- ★日 時 7月5日(日)
- ★集 合 6時45分：福祉センター前集合
7時00分：出発
- ★行 先 ニセコ町ニセコアンヌプリ(1,308m)
- ★持ち物 ザック、昼食、副食類、水筒、雨具及び防寒着、軍手、ゴミ袋、帽子、タオル、着替え、虫よけ等
- ★服 装 登山に適した服装・登山靴
または運動靴で履き慣れたもの
- ★定 員 30人
(小学生の参加は保護者同伴とします)
- ★参加料 記念品及び保険料等
(当日の朝、徴収します)
大人(中学生以上) 1人 1,000円
小人(小学生) 1人 500円
- ★その他 雨天中止(当日の朝、決定します)
- ★申込み 6月30日(火)までに
電話で申込みして下さい。
- ★問合せ スポーツセンター
(☎27-3775)



令和8年度 英会話教室開催情報

町ALT(外国語指導助手)による英会話教室を以下のとおり開催します。

2つのクラス(初心者又は経験者)で開催しますので、英語に苦手意識のある方でも気軽に楽しく始められます。日常的に使うあいさつや表現等を学び、参加者同士で英語を使って交流しましょう。

- ★参加費 無料
- ★参加対象 どなたでも参加できます。
- ★開催場所 福祉センター
※変更となる場合もあります。
- ★申込方法 電話(☎27-2495)またはフォーム(町HP“みんなで楽しく英会話教室参照”)による。
- ★開催日程 毎月第3水曜日
(直近の開催は、6月17日、
7月15日、8月19日です。)
- ★開催時間 初心者・初級コース
(17:30~18:15)
中・上級コース
(18:15~19:00)

4月定例教育委員会

4月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ★報告事項
各学校の教職員・児童生徒数について/4月校長会議・教頭会議について/厚真町教育研究所第1回運営委員会について/令和7年度厚真町標準学力調査の結果・厚真町の児童生徒の概況について/令和7年度新体力テストに係る厚真町の児童生徒の概況について/浜厚真野原公園サッカー場、上厚真・新町・本郷いこいの森パークゴルフ場、かしわ公園野球場オープンについて/庁舎周辺整備事業について
- ★議案
厚真町教育支援委員会規程の一部改正について
- ★その他
第61回北海道市町村教育委員会研修会、視察研修について
- ★問合せ
学校教育グループ ☎27-2494

町内小中学校教科書展示会の開催

教育委員会では、小中学校で使用している教科書の展示会を下記のとおり開催します。

教科書展示会は、教科書の適正な採択のために設けられた制度で、子どもたちが使用する教科書を、教育関係者だけでなく、保護者や地域の方々にも閲覧していただくことで、学校教育への理解を深めることも目的としています。

- ★展示期間
6月23日(火)~7月6日(月)
9時00分~17時00分
(火・木曜日は19時00分まで)
※日曜日は休館。

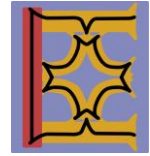
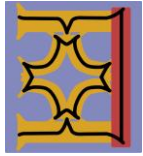
- ★ところ 総合ケアセンターゆくり
1階図書室(健康増進室)

- ★問合せ 学校教育グループ
☎27-2494



厚真に残るアイヌの伝承アニメ

短編アニメ「かもめのイピリマ」一般公開



本編 4分25秒
解説 1分45秒

教育委員会では厚真に残るアイヌ伝承のアニメを制作し、3月22日（日）に試写会を行いました。この度ご好評にお応えして、このアニメを自由にご覧いただけるように一般公開します。

今回の作品は幕末の探検家、松浦武四郎が書き残した伝承を題材にしました。タイトルは「かもめのイピリマ」。イピリマはアイヌ語で「おつげ」という意味です。これは現在の高丘、富里地区に残るお話です。若者が山の方で飛んでいるかもめを奇妙だなと感じるところから話は始まります。普段は海岸にいるはずの海鳥のかもめが山にいるのは…。それはアニメを見てからの楽しみです。

一般公開は6月1日（月）から総合ケアセンターゆくりの1階図書室（健康増進室）に入って右側の視聴コーナーで行っていますので、ご希望の方は図書室司書にお声がけのうえDVDを借りてご視聴ください。また、このアニメについては軽舞遺跡調査整理事務所やスポーツセンターに設置した電子パネルでも随時放映中です。

お子さんだけでなく、大人でも十分に楽しめる内容となっていますのでぜひご覧ください。



図書室利用時間は？

月・水・金・土曜日

午前9時から午後5時

火・木曜日

午前9時から午後7時です！



今年度は、（仮題）「松浦武四郎がみた厚真のアイヌ」についてアニメを2本制作予定です。アニメのほかアイヌ文化関連の見学会も予定していますので、今後のお知らせに注目して下さい。

アイヌ文化関連サテライト展示 ～復元した矢筒（やづつ）の公開～

教育委員会では、（仮称）アイヌ歴史文化センター開設に向け、アイヌ民族の伝統文化、歴史などの理解促進のため様々な事業を行っています。

展示資料はオニキシベ2遺跡から出土した矢筒の装飾部分をもとに、現代のアイヌ伝統工芸家（師匠）と継承者（弟子）にそれぞれ製作してもらいました。

注目は矢筒装飾部分の銀の円盤部分です。ここには「象嵌（ぞうがん）」といって、金属を本体に嵌め込む（はめこむ）技法が用いられていて、厚真の発掘で700年前から現代まで受け継がれている技術だとわかりました。

この復元した矢筒は、厚真町スポーツセンターのサテライト展示スペースで6月から新たに公開いたします。



展示予定の矢筒

問合せ

軽舞遺跡調査整理事務所

☎ 28-2733

✉ shakai@town.atsuma.lg.jp

図書室だより



は環境月間です



6月5日は環境の日です。

この日は、生活の中で無理せずできる環境に良さそうなことを実行してみませんか。例えば、

- ・家族が同じ部屋で過ごす
- ・テレビを消して、本を読む
- ・ご飯を残さず食べる

といった行動により、CO₂の削減効果や、食品ロスを減らすことができます。無理をして不自由な暮らしをすることはありません。できる範囲で少しずつ実行すると、長く続けていけるはずです。

他にも

脱炭素を目指す取り組みとして次のようなことができます。

- ・国産食材を食べる
→1食あたり0.017kgのCO₂の削減
- ・宅配便を1回目の配達で受け取る
→1回あたり0.18kgのCO₂の削減
※数値は環境省デコ活データベースより
- ・プラスチック製品のリサイクル
- ・良い服を大切に扱い長く着る
- ・テレワークの活用でガソリンを節約

図書室には、環境を考えるヒントになる本があります

・農文協「耕さない菜園」

耕さないとはいっても、草を刈り、米ぬかやもみ殻などをまいて土をほぐし、土の固まりを手でほぐすことは必要です。

・世界文化社「おしえて、パンやさん！」

帯広にある「ますやパン麦音」の畑の四季を通して小麦の栽培からパンができるまでが紹介されています。小麦を収穫した後の麦わらは牧場で飼育している馬の敷きわらに、その敷きわらはマッシュルームの栽培に使用されています。

6月の休館(ゆくり図書室)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

色がついている日が休館日です

■厚真町図書室

9時00分～17時00分(月・水・金・土)

9時00分～19時00分(火・木)

※日曜日、祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

おはなし
のびっ子

4月号で5月のおはなしのびっ子は21日とお知らせしておりましたが、28日(木)に変更になりました。開始時間、場所は変更ありません。6月のおはなしのびっ子はお休みです。

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

今年の春はいつもよりせつかなようで、コブシや桜、ツツジ、レンギョウとたくさんの花々の便りが早めに届き、視界が色とりどりに一気に明るくなりました。木々の枝先にも間もなく新緑がまぶしく揺れることでしょう。通勤する道端に咲くタンポポの黄色が鮮やかで、気分がとても明るくなるのが嬉しい今日この頃です。

心地よい日差しの中、子どもたちと春の森や公園へお散歩に出かけるプログラムを実施しました。春の山菜で人気の高い行者ニンニクを探したり、薄い青色をしたエゾエンゴサクでブーケをつくったりしながら森を歩きました。上厚真小高学年の活動日には、林業家の永山さんと西埜馬搬の皆さんにも参加してもらい、冬のプログラムに備えて馬そりを走らせるコースや、ソリすべりをするための斜面にある倒木と立ち枯れた木などを整理する活動も行いました。林業の道具を使って木を運ぶ方法を教わったり、丸太を引く馬たちの力強さを間近で体感しながら時間いっぱいまで森遊びを満喫した子どもたちです。桜が咲いた公園では、アスレチックで遊ぶ合間におやつを食べながらお花見も。花よりオニゴッコを楽しんでいた子どもたちでしたが、春を感じられる時間になったと思います。季節ごとに変わる自然の営みに触れることは、子どもたち心に故郷の記憶を留めるひとつの機能だと思います。夏には夏の、秋、冬にもそれぞれの面白さや素敵な出会いがあることを、活動を通じて子どもたちに伝えていきたいと思っています。

5月に入り、新1年生の子ども教室への参加が始まりました。これで全学年が揃っての子ども教室の活動がスタートしました。今年の新1年生は人数が少ないものの、パワーはほかの学年に負けていません。児童玄関前で、子ども教室に参加する子は集まってね、と声をかけると「ハイ！」と元気の良い返事が返ってきました。2～3年生と一緒に遊んでも、物怖じすることなく積極的に遊びの輪の中に入っていきます。子ども教室の活動が終わる頃には、電池が切れたようにおとなしくなり、「お腹すいたなあ」「なんだか、もう眠たい……」とつぶやいている子もいました。学校生活が始まって1ヵ月。ゴールデンウィークという休憩をはさんで、夏休みを迎えるまでの約2か月半、運動会という大きなビッグイベントも経験をする1年生です。子どもたちの表情や体力など、様子を見ながら活動を進めていきたいと思っています。

